

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人NPOかなびの丘

②評価調査者研修修了番号

SK2021195
SK2021193

③施設名等

名称：	大念仏乳児院
施設長氏名：	杉田善久
定員：	25名
所在地(都道府県)：	大阪府
所在地(市町村以下)：	大阪市平野区平野上町1-7-3
T E L：	06-6791-1992
U R L：	http://www.dsw.or.jp/kanren/nyujiin.html
【施設の概要】	
開設年月日	1971/12/1
経営法人・設置主体(法人名等)：	社会福祉法人 大念仏寺社会事業団
職員数 常勤職員：	38名
職員数 非常勤職員：	2名
有資格職員の名称(ア)	看護師
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数：	19名
有資格職員の名称(ウ)	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称(エ)	調理師
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称(オ)	
上記有資格職員の人数：	
有資格職員の名称(カ)	
上記有資格職員の人数：	
施設設備の概要(ア)居室数：	6
施設設備の概要(イ)設備等：	小規模グループホーム 屋上園庭
施設設備の概要(ウ)：	
施設設備の概要(エ)：	

④理念・基本方針

<p>【保育理念】一人一人の命を尊重し、25名の小規模施設の特性を生かし、家庭的な情愛のもとに健全育成することを根本理念としている。</p> <p>【基本方針】生涯にわたる人間形成の基礎を培うきわめて重要な時期を過ごすことになるため、小規模施設の特性を生かし、できるだけ家庭に近い環境作りに努める。</p> <p>子どもたちの人間としての権利（育ちの保障・権利侵害防止）を尊重して、個々の成長に応じ、心身ともに健やかにその発達を促すよう支援する。（職員との愛着関係や信頼関係を培う）</p> <p>専門的技能を生かし、保護者と子どもの絆を深め、家族との再統合を支援する。</p> <p>地域との交流を図り、地域のニーズに対応できる関係作りを行う中でネットワークを形成し、より良い乳児福祉の拠点として地域づくりに貢献する。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>(1)地域に開かれた子育て支援の場として、育児相談やショートステイ、病後児保育（病気回復期）を実施しています。</p> <p>(2)小規模グループケア（チューリップ保育）として地域に一軒家を借り、養育者と安定した関係を築き子どものペースに合わせ、より細やかな応答性の高い養育を実施しています。</p> <p>(3)子ども一人一人のつながりのある育ちを保障するとともに、自分らしさを実感し自己肯定感をもって生い立ちの整理ができるよう担当者が「育ち日記」を作成し、年に一回保護者に渡しています。児童養護施設へ措置変更した場合は、のちの子ども成長に役立つように15歳を迎える子どもに対し、担当職員より応援メッセージを残しています。</p>

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2023/9/6	
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2024/3/27	
前回の受審時期(評価結果確定年度)	令和 2 年度	

⑦総評

<p>【特に評価が高い点】</p> <p>●質の向上のための人材育成 全国社会福祉協議会の「乳児院の研修体系」を基本としたポイント制の研修を行っており、職員ごとの目標の達成と振り返りノートにより受講の効果、定着を図っています。</p> <p>●地域との交流 地域住民の参加が可能な施餓鬼法要、建物内の一部スペースを地域に開放し喫茶や、カルチャーセンターを行っており、地域住民との交流や、地域の福祉ニーズの把握を行っています。</p> <p>●地域の児童福祉の一大拠点化と福祉向上への取り組み 同一建物内に母子生活支援施設、自立援助ホーム、放課後児童育成、保育所、乳児保育所、夜間保育所があり、各施設でともに連携を取りながら、近隣の児童相談所・病院・警察・法律事務所・学校・保健福祉センターとも連携する地域における児童福祉の一大拠点となっています。</p> <p>●先進的な福祉ニーズへの取り組み 地域拠点としてえた福祉のニーズとして「予期せぬ妊娠や望まない妊娠等により一人で不安を抱えている妊産婦に対し、安心して出産子育てが出来る」よう大阪市の産前産後母子支援事業を行っています。事業の専門スタッフや乳児院や母子生活支援施設での多様な資源機能を最大限に活かす取り組みを行っています。</p> <p>●子どもへのきめ細かい養育支援への取り組み 子どもの権利擁護を守るため入職した新人職員からの新たな視点での意見を取り入れており、虐待防止マニュアルを改定しています。また、コモンセンスペアレンティング研修を受講、日々チェックシートを活用し自らの支援を振り返り、意識的に子どもを尊重した支援が出来るよう取り組んでいます。</p> <p>【改善が求められるところ】</p> <p>●個人情報の管理の徹底 子どもの写真などの個人情報の取り扱いについて、ルールは決められていますが、気のゆるみから情報漏洩につながる可能性があることを前提に、どんな個人情報があるか、その取り扱いについて課題はないか、その改善方法を検討し対応策の共有を図ることを求めます。</p>
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>平成29年度に初めて第三者評価を受けてから、今回で4回目の受講となります。過去3回は管理職が中心となり取りまとめを行っていましたが、今年度は一般職である、基幹的職員が中心となり、必要な資料集めから、職員間での討議内容の取りまとめ等、全て責任をもって執り行い受審する事にしました。</p> <p>資料やマニュアルを見直し、振り返りをする中でより深く乳児院の内容を理解する事が出来たようです。またそのような職員を今後も増やすことで、子ども達が安心・安全に過ごせる事に繋がっていくと思います。</p> <p>また今回改善内容として、個人情報の取り扱いについて指摘がありました。今年度中に職員間で協議し改善に向けて取り組みたいと思います。今回の気づきを日々の養育に生かし、より一層努力してまいります。ありがとうございました。</p>

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されるとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■理念や基本方針はホームページ、季刊誌「つぼみ」、子どもの入所時に保護者に渡すしおりに記載しています。</p> <p>■職員へは職員会議の際に周知を図っており、新任研修の際には説明をしています。</p>		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果															
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 293 555 633">①</td> <td data-bbox="555 293 1348 360">2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</td> <td data-bbox="1348 293 1457 360">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 360 1348 427">□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</td> <td data-bbox="1348 360 1457 427">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 427 1348 483">□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</td> <td data-bbox="1348 427 1457 483">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 483 1348 573">□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</td> <td data-bbox="1348 483 1457 573">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 573 1348 633">□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</td> <td data-bbox="1348 573 1457 633">○</td> </tr> </table>	①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a		□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○		□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○		□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○		□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○	<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>■平野区の福祉連絡会や子育て支援連絡会に参加し、地域の動向を把握しています。また大阪市児童福祉連盟の施設長会に参加しており、乳児院を取り巻く環境や社会福祉の施設の状況も把握に努めています。</p>
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a														
	□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○														
	□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○														
	□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○														
	□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 824 555 1142">②</td> <td data-bbox="555 824 1348 891">3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</td> <td data-bbox="1348 824 1457 891">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 891 1348 958">□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</td> <td data-bbox="1348 891 1457 958">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 958 1348 1025">□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</td> <td data-bbox="1348 958 1457 1025">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1025 1348 1081">□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</td> <td data-bbox="1348 1025 1457 1081">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1081 1348 1142">□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</td> <td data-bbox="1348 1081 1457 1142">○</td> </tr> </table>	②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a		□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○		□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○		□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○		□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○	<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>■把握された情報や経営課題を理事会等で周知し、共有しています。施設長は職員会議で経営環境や今後の施設の方向性について職員に周知しています。</p>
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a														
	□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○														
	□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○														
	□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○														
	□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○														

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果															
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 1426 555 1747">①</td> <td data-bbox="555 1426 1348 1494">4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</td> <td data-bbox="1348 1426 1457 1494">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1494 1348 1561">□中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</td> <td data-bbox="1348 1494 1457 1561">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1561 1348 1628">□中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</td> <td data-bbox="1348 1561 1457 1628">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1628 1348 1695">□中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</td> <td data-bbox="1348 1628 1457 1695">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 1695 1348 1747">□中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</td> <td data-bbox="1348 1695 1457 1747">○</td> </tr> </table>	①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a		□中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○		□中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○		□中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○		□中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○	<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>■乳児院独自の5年のスパンでの中長期計画は①小規模化の強化②一時保護時の支援強化③人材育成・確保・定着の強化④里親開拓に向けての土台作り⑤本体施設の機能強化の項目について具体的な内容となっています。また3年に一度の割合で見直しの時期を設定しています。</p>
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a														
	□中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○														
	□中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○														
	□中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○														
	□中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 1937 555 2060">②</td> <td data-bbox="555 1937 1348 2004">5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</td> <td data-bbox="1348 1937 1457 2004">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="555 2004 1348 2060">□単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</td> <td data-bbox="1348 2004 1457 2060">○</td> </tr> </table>	②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a		□単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○										
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a														
	□単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○														

<input type="checkbox"/>	単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■乳児院独自の中期計画の項目と年度で求められる項目を加えた単年度計画を策定しています。また項目ごとに具体的な目標と手法を計画しています。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<input type="checkbox"/>	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■各係からの意見の集約の下で作成し、決定後は回覧をしています。事業計画推進員が毎年度評価、振り返りを行っています。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<input type="checkbox"/>	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■施設の特性上保護者会がないため、入所時や年度初めに郵送や子どもへの面会時に説明をしています。保護者が理解しやすいようわかりやすい説明に努めています。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/>	組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■自己評価は、年に一度運営検討委員が中心となり実施しています。第三者評価については、基幹的職員、副主任、主任で分析し、施設長とともに検討を行っています。
 ■養育・支援の内容については、倫理要綱チェックシートにより毎日退勤時に振り返りを行っています。また半年に一回人事考課面談時に上司と面談を行い、各自の支援の質の向上に向けて指導をしています。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■評価結果での分析を基にした課題は自己評価分析等のグループ討議で行われています。課題を共有後職員全員の参画により改善案を策定しています。今後は、改善案を事業計画の項目にあげるなど組織的な取り組みを期待します。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。

第三者
評価結果

①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■季刊誌「つぼみ」や乳児院だよりで自らの言葉で経営や管理に関する方針を表明しています。また新人研修や会議の際にも説明しています。

■「職務分掌表」によって施設長の役割と責任を文書化しています。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■府の部会や研修会に参加、会計士と毎月勉強会を開催し、経営について勉強しています。

■新任の職員には新人職員で就業規則の説明、顧問弁護士による法人内の研修で遵守すべき法令等の周知を図っています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 現場では施設長に代わり主任が指導を行っています。また、外部研修には施設長・主任・副主任が積極的に参加し、職員に周知を図っています。
- 乳児院の養育・支援の質の向上のために研修制度の充実を図っています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○	

【判断した理由・特記事項等】

- 人事・労務・財務に関する分析を行い、中長期計画や事業計画に盛り込むなど、組織や労働に関する環境整備に取り組んでいます。
- 各施設から選抜された委員からなる理事長直轄の「将来構想推進委員会」により、法人の経営改善や業務の実行性を高めるための体制を構築しています。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 人材の育成や確保定着の強化及び必要な福祉人材について中長期計画、事業計画で計画を立てています。また支援の質の向上、機能強化の体制の整備を進めています。
- 福祉全体の人材の育成もかねて実習の受け入れを行い、実習終了後アンケートで、入職希望であれば採用情報をわたしています。SNSの活用や法人の推進委員が採用ページの更新を行っています。
- 法人全体で施設見学会(オンライン参加を含む)の開催を行っています。職員の卒業した学校へ出向き講義を行っています。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
---	---------------------	---

<input type="checkbox"/>	□法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 期待する職員像に基づいた人事考課を行っています。年に2回一人15分から20分の人事考課面談を行っています。
- 主任が職員の意見や意向をまとめ、施設長は改善策の検討を行っています。
- 今後は育成、採用、配置、処遇、評価等が一体的となる仕組みづくりの整備を期待します。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/>	□職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 法人内に設置された「将来構想推進委員会」は各施設からの委員で構成しています。この「将来構想推進委員会」で働きやすい職場改善についての課題や改善策が話し合われています。
- 心理士による休憩時間での月二回のお茶会を開催しており、普段疑問に思っていることや不安に思うことなどメンタルケアやコンサルテーションを行っています。
- 各施設では毎年次年度の希望調査を行っており、年次有給休暇の取得日数の増加、処遇改善加算の取得などで働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	□施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 期待する職員像から勤務年数による「職員振り返りシート」とともに「成果、服従遵守と協調性、責任制、積極性、知識と能力」の人事考課項目による年に2回面談の目標管理を行っています。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■全国社会福祉協議会、全国乳児福祉協議会の乳児院の研修体系をもとに、「養育の専門職としての基底をなすもの」「乳幼児の養育に必要な専門的知識」「チームアプローチと機関連携」「保護者支援に必要な専門的知識」「里親支援に必要な専門知識」を乳児院の職員の身につけるべき内容として教育研修制度を計画しています。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

■人材育成に必要として認められた研修に参加した場合、ポイントを付与するポイント制度を行っています。各職員ごとに研修履歴を記録し、職員自身の振り返りにもつなげています。
■初任職員・中堅職員・上級職員・基幹的職員・施設長の5つのレベルごとに4つの領域の研修（ケースカンファレンス・スーパーバイズ・指定の施設外研修・その他）を受けており、職員のレベルごとに3年間での必須ポイントを決めています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■実習生への指導マニュアルの研修を毎年行っています。
■学校の職員と連携を取りながら、実習プログラム表に沿った実習を職員が共有する体制を取っています。
■令和4年度は20校に近い学校から合計73名の実習受け入れ、看護師の実習も受け入れています。

3 運営の透明性の確保

	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ ボランティア受入れはオリエンテーションを事前に行い、守秘義務等の留意事項を伝えたくて実施しています。新型コロナ禍前は子どもを抱っこする、縫物をするといったボランティアを受け入れていました。現在は受け入れを開始しています。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 施設として必要な社会資源はリスト化し職員のデスク周りに掲示しています。
 ■ FSW・里親担当職員を中心に保育所、保健師、フォスタリング機関と定期的なケース会議を行い、情報共有を図っています。これらの関係機関との情報共有については、0.1才会や職員会にて話され、議事録で全職員に周知を図っています。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 平野区社会福祉協議会への参加や警察の会議に参加することで、地域の福祉ニーズや生活課題の把握を行い、会議で報告をしています。
 ■ 文化教室、喫茶店、クラブサークル活動など、法人の建物内の一部を地域交流の場として提供しています。
 ■ 24時間の電話育児相談を行っています。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 思いがけない妊娠への相談窓口と居場所を兼ねた産前産後母子支援事業を大阪市から委託を受けて行っています。
- 地域のひとり親家族等へ食事提供の支援事業のセンターを行い、地域の子どもの課題のニーズの把握を行っています。
- 乳児院併設の病児保育「タイガールーム」、夜間保育所「ひらのドリーム園」、電話相談を行っています。
- 施設の特性上食材等を地域分までは準備していませんが、法人として防災の避難訓練場所として提供を行う準備をしています。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ■乳児院倫理綱領を職員に配布し毎日各自チェックをしており、毎月主任がチェックと指導を行っています。 ■コモンセンスペアレンティングを新規採用職員時研修しています。 ■毎年、養育マニュアルや虐待マニュアルを新規採用の職員に渡し、ディスカッションの中で出てきた配慮すべき事柄についても、見直しを行っています。 		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ■プライバシー保護についてはホームページに周知しています。また、新規採用の職員に毎年研修を行っています。 ■トイレやオムツ替えるお部屋について、今後プライバシーが守られるよう改修予定です。 		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】		

■保護者用の入所のしおりを作成しており、保育理念・基本方針・子どもの生活や行事・一日の生活などの説明資料を渡して説明をしています。
 ■入所時の見学に対応しています。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■入所のしおりをもちいて説明し、養育・支援の開始時は保護者の意向については、書面にて確認をしています。
 ■CWと情報共有し保護者の様子を確認しながら、保護者から希望があればできるだけ希望に添えるよう配慮しています。また、年度末にこどもの「育ち日記」を保護者に郵送する際、保護者アンケートを同封し、要望を聞いています。
 ■意思決定が困難な保護者については、マニュアルに基づき、子ども相談センターと共同で支援を行っています。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■措置変更の引き継ぎ書は統一した様式を作成しており、ならし保育、里親実習、面会をしてスムーズな移行が出来るよう配慮しています。
 ■FSW(2名)や里親担当(2名)が中心となって担当者を決め、退所後の説明を行い、アフタケアを行っています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■年間行事についてレクリエーション係が、お花見など季節に合ったイベントやアドベンチャーワールド訪問などを実施しています。主任、副主任、心理士が、散歩に出かけるときの子どもの様子を観察して、子どもの満足に関して検討や改善を行っています。
 ■保護者のアンケートを年度末に行っており、アンケートをもとに、保護者に郵送する子どもの「育ち日記」の字体・フォントを変更し、保護者にとって読みやすくするなどの改善を行っています。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 苦情を利用者の声として前向きに受け止め一つ一つの声にして、利用者の処遇向上を図り、快適な施設を目指すことを目的とした法人全体の苦情解決のしくみを整備しています。
 ■ 法人内の各施設ごとに窓口担当者を設け、苦情処理委員会、第三者委員の体制となっており、月に1回開催しています。また、内容は、プライバシーに配慮したうえで、ホームページに公開しています。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 苦情処理委員会について保護者にとって身近に感じてもらうため、職員の提案で「きっくん」と名付け、鳥のキャラクターマークを作って入所のしおりと共に入所時説明をしています。
 ■ 苦情・相談・意見を分けず、利用者の声として聞く仕組みづくりをしています。エレベーター前の掲示板にこれらの仕組みについて掲示しています。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 保護者からの相談や意見に対して対応できるものはその場で対応し、ケース記録に残しています。
 ■ 相談や意見は0.1才会で話し合いを持ち、法人全体の苦情処理委員会に報告します。独自判断できないものはCWに相談し、その後保護者に内容を説明しています。
 ■ 対応マニュアルはありますが、適宜の見直しとなっており、定期的な見直しの機会を設けることを期待します。
 ■ 意見箱には意見が入らないとのことですが、利用者の特性として、言いづらい環境である可能性があることを配慮した対応を期待します。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
---	---	---

	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■ 基幹的職員が毎月ヒヤリハットの報告をまとめ、改善策を職員に伝え、年度末には集計し再度改善策や再発予防策を徹底しています。新人職員には前年度のヒヤリハットのまとめを提示し、注意喚起しています。AEDの使い方、SIDSについての研修を行っています。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■ 主任・看護師3名を含む管理体制を整備しています。近年の新型コロナウイルス禍で、予防策・感染症対策の研修を行い、感染症に関するマニュアルの充実を図りました。
 ■ 感染症の発生時には隔離室や安静室を設けました。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

■ 立地条件から水害を含めたBCPを令和4年に防災係が作成しました。このBCPを令和5年の研修で周知徹底を図りました。避難訓練は昼間は毎月、夜間想定は年二回行っています。また、避難行動フローチャートを掲示しています。
 ■ 今後は、立地条件の災害によるBCPだけでなく、情報分野における事項を追加するなどさらなるBCPの充実を期待します。
 ■ 法人として、同じ建物内に分散して備蓄しています。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 養育マニュアルや虐待防止マニュアルは毎年全職員で見直しを行い、まとめられたものを回覧しています。
- 各新人職員にはこれらのマニュアル、コンセンサスペアレンティング研修をもとに丁寧にOJTを行っています。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 養育マニュアルや虐待防止マニュアルは毎年6月頃、全職員が2つのグループに分かれ、意見をまとめて会議でまとめています。
- 自立支援会議は最低年に2回行っており、毎月担当の子どもごとに目標を決め、次月には検証の上、見直しをしています。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 入所前に把握していることは、職員に回覧で共有しています。
- 入所後1ヶ月前後で担当・副担当・心理の職員のアセスメントを行い、子どもの日常生活での観察で気づいたこと、職員で共有し、課題や支援の方法は他の職員参加型の会議を行い、決定しています。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

■半年ごとに担当職員が現状から課題を踏まえて自立支援計画を立案し周知を図っています。保護者の状況の変化や子どもの発達に関する事など、自立支援計画を緊急に変更する場合は、主任や副主任と相談、0.1歳会で話し合い、会議後書面にまとめて全職員に周知しています。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	<p>44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。</p>	b
	<input type="checkbox"/>	○

【判断した理由・特記事項等】

■自立支援計画での内容により、食事、排せつ、更衣、成長面などの具体的な項目による個人目標を設定して記録しています。またすぐに見れるようにケース記録は紙による管理を行い、医療日誌、自立支援計画も綴じています。PCには各子どもごとのファイルを作成し、月のまとめや育ち日記を共有しています。

■記録の記載時、どのような表現が適切な表現かマニュアルに例文を挙げるなど、よりきめ細かな指導を期待します。

②	<p>45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。</p> <p><input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。</p>	b
	<input type="checkbox"/>	○

【判断した理由・特記事項等】

■個人情報の取り扱いは主任が責任者となり、マニュアルを作成しています。また、職員は弁護士による法人研修や施設内の勉強会で研修を行っています。

■子どもの写真などの個人情報の取り扱いについて、情報漏洩につながる可能性があることを前提に、今一度、個人情報の取り扱いについて課題はないか、その改善方法を検討し、職員全体で周知することを求めます。

内容評価基準 (22項目)

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
	<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p>	a
	<input type="checkbox"/>	○
	<input type="checkbox"/>	○

□権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

■子どもの権利擁護に関するマニュアル、虐待防止マニュアルを整備しています。新人職員に虐待防止マニュアルを説明し権利擁護に関する意識づけを図りつつ、マニュアルに関する意見を求め、年に一回見直しを行っています。

(2) 被措置児童等虐待の防止等

①	A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	□不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
	□会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	□不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	□不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	○
	□被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■各職員は毎日の退勤時に子どもへ適切な養育・支援ができたかどうか乳児院倫理綱領を基に作成したチェックポイントシートによる振り返りを行っています。
 ■言葉がけ等で気になる関わりについても会議で話し合いを行い、職員同士で注意喚起を行っています。
 ■新人職員は主任・副主任よりオリエンテーション時、コモンセンスペアレンティング研修を行い、不適切なかかわりの防止に関する周知を図っています。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本

第三者
評価結果

①	A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	a
	□乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
	□子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
	□どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
	□特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
	□担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	○
	□語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
	□被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■0.1歳児は担当制保育を行っています。入浴や、散歩、食事介助、個別保育はできるだけ担当職員が行っています。また、クラスが上がった時は副担当となるような体制を取っています。配慮が必要な乳幼児に関しては心理士の意見を参考にプレイセラピー等を実施しています。

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	□日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	○
	□入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	○
	□一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	○

- 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。
- 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。
- 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。
- 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。

【判断した理由・特記事項等】

- 日々の生活リズムをつけるため食事、月齢よっての分散保育、一日2回さまざまな場所への散歩、睡眠、入浴、行事など日課に沿って一日を過ごすようにしています。
- 衣類や食器、戸棚には子どもごとにシンボルマークをきめて「自分のものである」ことがわかるようにしています。

(2) 食生活

①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 授乳は適切な時間で与えており、子どもの発達、様子などに応じて行っています。子どもの好みを把握し、職員で情報共有しており、子どもの好みによっては一人飲みになる場合もあります。また、重篤な状況の子どもが入所している場合は職員体制を手厚くするなど、子どもに応じた授乳を行っています。
- 授乳量を記録し、子どもの体重の増加や体調管理を行っています。

②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 離乳食の開始や段階については毎日の様子を見ながら担当職員が栄養士クラス職員と会議で情報共有しながら取り組んでいます。
- 乳幼児が自分で食べる気持ちを大事にするよう、おやつや、ゆでたマカロニ等手づかみで口に持っていけるようなものを食事と別で用意しています。

③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>	養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■日曜日は栄養士や調理員が室内で調理を行い、食事をつくる場面を子どもに経験させています。
 ■年に3回のお食事会では子どもと一緒に野菜をゆでたり、ふりかけを作ったり、魚を焼いているところを見るといった簡単な調理の実践や職員とともに食事をする事で「豊かな生活体験」を取り入れるよう工夫をしています。
 ■地域小規模グループケアホーム(チューリップ保育)では、ホットプレートでお好み焼きを作ることもあり、家庭的な雰囲気の中で楽しく食事をとれるよう努めています。

④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
<input type="checkbox"/>	十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	さまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■食育の取組として季節を感じる食材で筋取りや皮むきといった料理の一部を子どもに経験させています。
 ■チューリップ保育では献立のリクエストからお買い物、料理を子どもと共にしています。
 ■子どもの体調を見ながら、アレルギーや疾患の有無を職員で共有しています。アレルギーの子どもとそうでない子どものテーブルをわけています。食事の際は、アレルギーを持つ子どもにはトレーに名前を記載、アレルギー除去食とわかるようお皿を変えて提供しています。

(3) 日常生活等の支援

①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■環境係が衣替えや月齢に応じた衣服を用意できるよう管理をしており、職員は清潔な服が着れるよう配慮しています。
 ■保護者から子どもへ衣服の提供があった場合は、マークをつけて、各子どもの衣服であるようわかるようにしています。
 ■月齢が高い子どもは、子どもごとにきめられた引き出しから、子どもと一緒に衣服を選び、その子の意思を尊重しています。

②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	○
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	○
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	○
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 温度計で適温に保っており、空気清浄機や加湿器を設置して室内環境を整えています。また入眠時はオルゴールを使用しています。
- 0歳児は発達に応じてベッドの高さやマットレスを変えています。1歳児はじかにお布団を引いており、快適に過ごせるようロールカーテンを下ろしたり、床暖房は日中のみにし、睡眠しやすいよう配慮しています。
- 15分ごとに見回り呼吸のチェックを記録しています。

③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	○
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	○
<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	○	

【判断した理由・特記事項等】

- 入浴は毎日個別入浴を行っており、子どもの年齢や発達に応じたおもちゃを用意しています。0歳児はベビー用の浴槽で沐浴を行っています。

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	○	

【判断した理由・特記事項等】

- 月齢や個人の発達に応じてオマルやトイレで練習しており、成功した場合は、職員がほめることで子どもの自立と自信につなげています。
- トイレの設備に工夫をしたり、チューリップ保育では成功すればシールはりをしており、子ども自身の排泄への意欲を育てるように援助しています。

⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○	

<input type="checkbox"/>	養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 発達に応じた玩具を選択しています。一日2回様々な場所にお散歩をしており、子どもの探求心や好奇心を満たすよう適切な働きかけを行うよう心がけています。
- 玩具は月5000円の予算で環境係が専門的視点から購入し、子どもに意図的に遊びの機会を準備しています。また、寄贈による玩具の活用や職員が手造りでおもちゃの制作をしています。
- 自由に玩具を出し入れできるよう収納にも工夫をしています。

(4) 健康

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
<input type="checkbox"/>	健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒の問題等について総合的な診察を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 一日2回の検温を検温表に記入し、子どもの体調に応じて医療機関への受診をしています。予防接種は子どもの体調に応じて接種、健康係が管理を行っています。
- 入所の際に病歴等の状況を把握し、かかりつけ医又は大きな病院との連携を行っています。
- 食材や離乳食を開始する際は医療機関が開所の時間帯に行うことで、アレルギー症状の出現に備える等の対策を行っています。

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
<input type="checkbox"/>	病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 病・虚弱児等の状況把握のために、全職員が把握可能な当直室に子どもの対応情報を掲示、子どもごとに医療日誌を作成して情報共有を行っています。
- 服薬管理は職員によるダブルチェックを行っています。
- 嘱託医による定期健康診断は年に2回行っています。

(5) 心理的ケア

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/>	心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■心理的支援を必要とする子どもには、心理職による月1回から週1回必要に応じてプレイセラピーを行っています。保護者には面会前後に職員がコミュニケーションを図り、月に一回程度お茶会を開催、希望者にはカウンセリングを行っています。保護者の心理的支援を含めた子どもへの支援内容は毎月会議で全職員に周知をしています。
 ■心理士が講師になり子どもの発達やストレスなどのテーマで法人研修を行っています。職員向けのボディーワークやお茶会を月に2回行っています。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■月に一回子どもの発達や様子を書いたカードを郵送したり、面会時に子どもの日々の様子を伝えています。
 ■面会時にオムツのかえ方や沐浴・入浴・面会室での保育士と子どもの遊びを見せることで、子どもとの触れ合い方など親子関係の形成に努めています。

②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

■入所時のアセスメントを行い、親子関係の再構築が目標となる場合、ケースワーカーとの定期的な情報共有を行っており、ケアの方向性について回覧を行い全職員に周知を図っています。
 ■面会・外出・一時帰宅の際においても、子どもの様子を観察し、ケースワーカーと情報共有を行っており、必要に応じて家庭訪問を依頼、家庭支援専門員や心理士が家庭訪問を行っています。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	<input type="radio"/>

- 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。
- 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。

【判断した理由・特記事項等】

- 子どもの退所先に応じ、引き継ぎ書の作成を行っています。養護施設に委託変更となる場合は担当職員と子どもと一緒に何度か訪問するならし保育を活用しています。
- 家庭復帰の場合は相談の窓口や24時間の電話相談の案内、退所後は家庭支援専門員による家庭訪問や電話でアドバイス指導を行っており、児童相談所や関係機関等との会議に参加し、連携して子どもの安定的な生活への支援を行っています。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A20 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 里親支援専門相談員を2名配置しており、支援の充実を図っています。
- 中長期計画には、実習生に対する里親に関する講義、認定前里親・特別養子縁組前提の実習、里親サロンへの参加、里親支援のブロック訪問や地域の里親への支援について計画しています。
- これらの計画に基づき、地域のシンポジウムや学校向けのセミナーを行い、里親に関する相談会や推進活動を行っています。また、月に一回から二カ月に一回、家庭訪問を行ったり、入電等のフォローを行っています。

(9) 一時保護委託への対応

①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 児童相談所と連携し、受け入れを行っています。受入れ後3日間の様子を記録し、1ヶ月後にアセスメント会議を行っています。
- 感染症を含めた健康観察を行うため、すでに入所している子どもとは別室として支援を行っています。アレルギーについても原則として何らかのアレルギーがあるという前提で受け入れ支援しています。

②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	○
	<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 児童相談所から緊急一時保護を受け入れています。また夜間でも対応できるようマニュアルを整備しており、入所後3日間での身体、心理、体調面での様子を記録しています。
- 受入れ後1-2日間は、すでに入所している子どもとは別室で過ごし感染症等の健康観察を行っています。
- 中長期計画には一時保護事業開設の計画があります。